

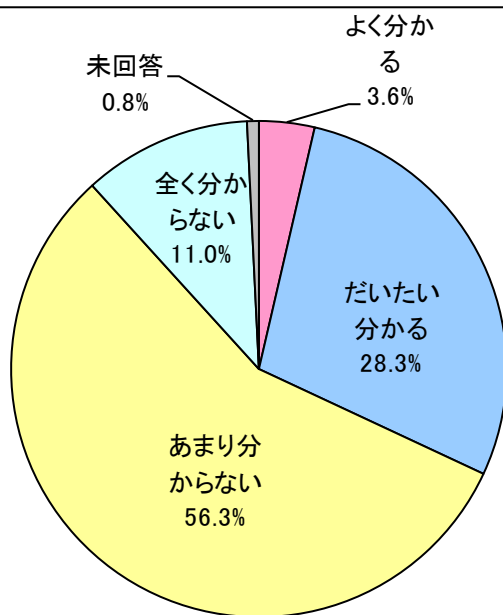
県が実施したアンケートの結果

実施時期：9月中旬～10月中旬

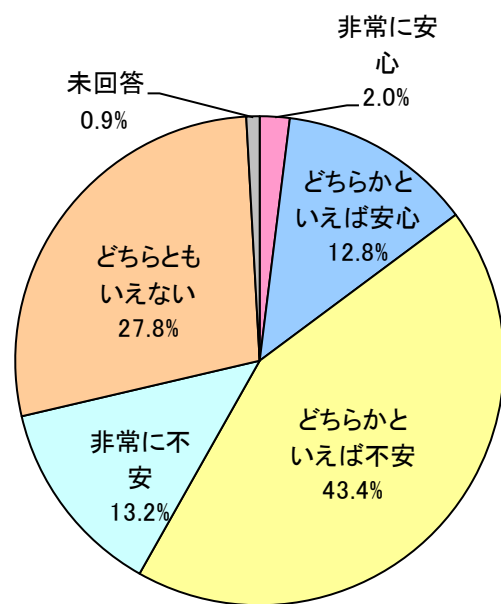
対象者：1,546名（県政モニター、県食品安全対策モニター、食品表示ウォッチャー、情報提供希望者）

回答者：911名（回答率58.9%）

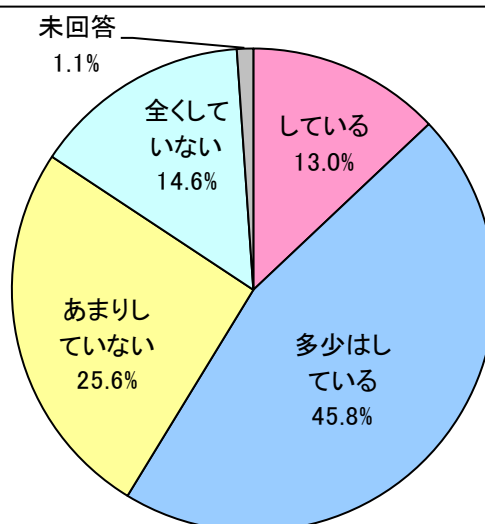
Q1 あなたは、「放射性物質」「放射線」「放射能」「ベクレル」「シーベルト」という用語の意味や違いが分かりますか。



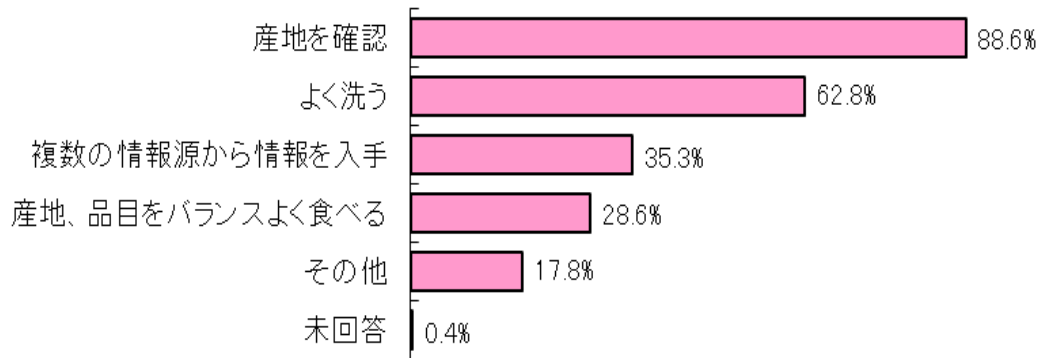
Q2 あなたは、暫定規制値以下の食品の健康への影響について、どのように思っていますか。



Q3 あなたは、暫定規制値以下の放射能で汚染された食品を避けるために、自分なりの工夫を何かされていますか。



Q4 放射能で汚染された食品を避けるためにどのような工夫をされていますか。
(複数選択回答)



Q5 Q4「その他」の記述回答の概要

<買い方>

- できるだけ県内産品を買う。
- 少しでも汚染の可能性のない産地を選んで買う。
- なるべく産地のわかるものを買う。
- 海外のものを買う。
- 毎日少量ずつ買う。同じものを毎日たくさん食べない。
- その日その日の新聞、ラジオ、テレビ、雑誌などを見て産地を考える。
- 汚染されていないかメーカーに問い合わせる。
- 放射性物質を取り込みやすい食品はなるべく控える。

<作り方>

- 野菜などはよく洗ってから使う。
- できる限り湯に通してから、又、火を通して料理する。
- 外食の回数を減らし、手作りを心掛けている。

<その他>

- 家庭菜園で野菜を作る。
- 講座などに参加して、仲間と一緒に学習を続けている。